

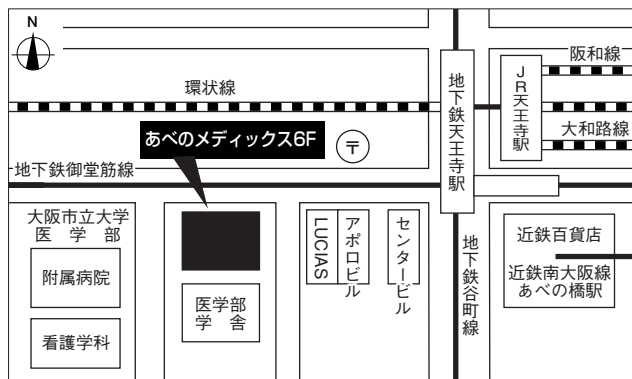


お 知 ら せ

第23回 技師長会のご案内

このたび、技師長会を復活させることとなりました。
 休止していた約4年の間に、病院検査室のおかれた状況はかなり変化してきました。
 医療の質が問われている今こそ、検査室は何をすべきか？
 一緒に考えてみませんか！

日 時：平成18年11月18日(土) 14:30～16:50
 場 所：あべのメディックス 6階ホール
 テーマ：「これからのLaboratory managementのありかた」
 評価点：B-10点
 (会員証をお持ちください)
 参加費：会員500円、非会員3,000円
 連絡先：大阪府立成人病センター 井戸田 篤
 E-mail: idotaa@opho.jp



内 容

【第1部 情報提供】

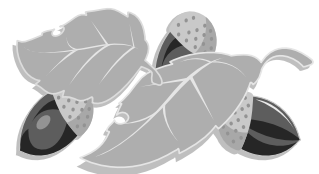
1. 「病院経営環境の変化と対応」
 講師：アルフレッサ(株)コンサルティング部
 機能評価支援グループ 四野宮 敬彦
2. 「SWOT分析による検査室への活用について」
 講師：ロシュ・ダイアグノスティックス(株)
 CD事業部 高田 藤代

【第2部 総合討論会】

「検査室の向上を目指した取り組み

ー我々は今何をすべきかー」

1. 講師：大阪医科大学附属病院中央検査部 村上 澄子
2. 講師：大阪府立成人病センター臨床検査科 永井 博



緊急連絡!

「第1回認定一般検査技師試験」を受験予定のみなさんへ

来年早々の1月に「第1回認定一般臨床検査技師試験」が実施される予定です。
 本試験の受験を考えておられる方々を対象に説明会を開催します。

日 時：平成18年11月28日(火) 19:00～20:30
 場 所：大臨技事務所 会議室
 参加費：無料
 連絡先：大阪大学医学部附属病院 今井 宣子
 E-mail: imai@osaka-amt.or.jp

認定試験の範囲はカリキュラムとして日臨技ホームページ内
 「日臨技認定センター」に掲載されています。

http://www.jamt.or.jp/information/nintei/ippan/f_curriculum_i.pdf



第47回 近畿医学検査学会だより

来年、平成19年11月24日(土) 25日(日)に大阪国際会議場(グランキューブ大阪)にて「第47回 近畿医学検査学会」と「第50回 日本臨床検査医学会近畿支部総会」の同時開催が決定しました。今回の学会は、近畿臨床検査技師会と日本臨床検査医学会近畿支部との同時開催であり、テーマを「臨床検査新時代の幕開け～協働と発展～」としています。

学会の成功を目指し、実行委員会メンバーを中心とした企画への取り組みが始まっています。

■ 第47回近畿医学検査学会 実行委員会役割分担

役 割	担 当 者
学 会 長	近畿大学医学部附属病院 森嶋 祥之
実 行 委 員 長	大阪大学医学部附属病院 今井 宣子
副 実 行 委 員 長	関西医科大学附属枚方病院 高田 厚照
事 務 局 長	仁真会白鷺病院 吉本 勝美
事 務 局 次 長	市立豊中市民病院 清水 隆之
学 術 部 担 当	大阪府立母子保健総合医療センター 宮野 章 若弘会若草第一病院 神農 和枝
施 設 部 担 当	好寿会美原病院 北中 直行
広 報 部 担 当	若弘会若草第一病院 山田 真規子 大阪労災病院 出野 憲由
会 計 部 担 当	株式会社大阪血清微生物研究所 荒木 年夫
庶 務 部 担 当	生長会ベルランド総合病院 酒井 正容

※大臨技ニュースでは、毎月学会情報を掲載していきます。学会ホームページも開設されます！

トピックス

JCCLS 標準採血法 ガイドライン発刊

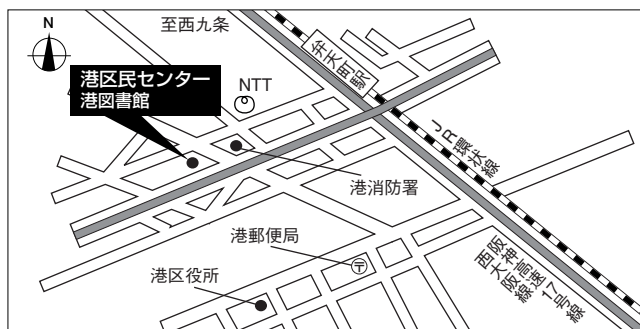
標準採血法ガイドラインApproved Guidelineによる採血法のポイントは下記の3点

- ①「ホルダーは使い捨て」
- ②「手袋の着用(実施毎にアルコールでの消毒)」
- ③「アームダウンでの採血」



聞こえない患者様が来られた時に、手話であいさつだけでもできたらいいなと思ったことはありませんか？手話って興味はあるけど、どこで習うの？講習会通うほどでもないし…という方はおられませんか？

昨年に引き続き、赤木さんの手話講座では簡単な手話を覚えて、みなさんからの「こんな時にはどうしたらいいの？」という質問にもお答えいただけると思います。聞こえない患者さまが病院にくる時にどんな事で困るのでしょうか？どんな不安があるのでしょうか？それを知っていただくだけでも、聞こえない方に少しでも安心してきてもらえると思います。みなさんお問い合わせのうえ、ぜひご参加ください。



日 時：平成18年11月11日(土)

14:00～16:00 (13:30より受付)

場 所：港区民センター(地図参照)

地下鉄中央線、JR環状線「弁天町」下車徒歩7分

〒552-0007 大阪市港区弁天2-1-5

TEL: 06-6572-0020

FAX: 06-6572-0274

評価点：A-10点(会員の方は会員証をお持ちください)

参加費：無料

対 象：どなたでもご参加いただけます

連絡先：大阪警察病院 臨床検査科 赤木 征宏

E-mail: akag@oph.gr.jp

学術部 血液検査部門からのお知らせ

◎第17回 近臨技形態検査部門血液検査分野研修会◎

今回のメインテーマは「血液検査に関する最近の動向と知見」とし、各分野で代表的な先生方を講師として招いております。2日目は昨年同様、動画による実習を行います。参加者全員が同じ動画を同時に見て、細胞の出現状態・細胞形態・考えられる疾患・臨床にどう報告するかまでを一連の学習を血液認定試験形式で行います。その後、各担当講師による回答及び関連する内容について講義を行います。

日 時：平成19年3月17日(土) 13:00より
平成19年3月18日(日) 12:30まで

主 催：近畿臨床検査技師会

担 当：滋賀県臨床衛生検査技師会 形態検査部門血液検査分野

会 場：ピアザ淡海 大会議室

滋賀県大津市におの浜1丁目1番20号

TEL: 077-527-6333

会場への交通:

● JR琵琶湖線 膳所駅より 徒歩 12分

● JR琵琶湖線 大津駅より バスなぎさ公園線
にて 8分 ピアザ淡海下車

周辺駐車場が少ないため、マイカーのご利用
はお控え下さい。

詳しくは滋臨技ホームページ (<http://www.samt.jp/>)
の当研修会案内から会場案内をご参照願います。

対象者：近畿臨床衛生検査技師会会員

受講料：3月17日、18日…7,000円(参加・テキスト代)
17日のみ …… 4,000円(参加・テキスト代)

定 員：両日とも150名

情報交換会

会 場：ピアザ淡海 6F クリスタルルーム

日 時：平成19年3月17日(土) 18:00～

申込方法

●メールにて

滋賀県臨床衛生検査技師会のホームページ
<http://www.samt.jp/>

の「参加申込みリンク メール」よりメールにてお申
込み後、受講料の銀行振り込みをお願いします。

●FAXにて

ホームページ (<http://www.samt.jp/>) の「参加申込み
リンク 受講FAX申込み書」にご記入のうえ、FAXで
お申込み下さい。お申込み後、受講料の銀行振込み
をお願いします。

※なお、振込み確認をもって受講および情報交換会の
確認通知書をメールまたは電話で連絡いたします。
領収書は、研修会当日にお渡しいたします。

参加申込み受付開始日：平成18年11月1日(水)

締切日：平成19年1月12日(金)

問合せ先：〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30

TEL: 077-582-5031 (内線 3234)

滋賀県立成人病センター 臨床検査部 梅村 茂人 宛

プログラム

■平成19年3月17日(土)

「血液検査に関する最近の動向と知見」

12:00～13:00

受 付

13:00～13:10

開講式・オリエンテーション

13:10～14:10

講演1:『自動血球計数装置の白血球分類における
目視再検基準の設定について』

大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 久保田 浩

14:20～15:20

講演2:『認定血液検査技師制度5年目を経過して現状報告』
京都大学医学部附属病院 検査部 志賀 修一

15:30～16:40

講演3:『新DIC診断基準と血液凝固検査の有用性』
滋賀医科大学 集中治療部 教授 江口 豊

18:00～

情報交換会

■平成19年3月18日(日)

9:00～9:30

受 付

9:30～12:30

動画による検鏡実習:血液一般・末梢血・骨髓

(検査の進め方・所見の書き方)

認定試験を意識した形式での実習を行い、後に各担
当講師により回答及び関連する内容について講義があ
ります

12:30～12:50

閉講式

宿 泊：今回、JTB滋賀(株)に宿泊施設の斡旋をお願
いいたしました。受講申込みされた方で
宿泊希望の方はホームページ (<http://www.samt.jp/>) の「宿泊」より宿泊申込書をダ
ウンロードしFAXにてJTB滋賀(株)へ、各自
でお早めにご手配願います。

学術部 病理・細胞検査部門からのお知らせ

第21回 大阪病理技術研究会

病理細胞検査部門恒例の大阪病理技術研究会を右記のとおり行います。

今回は特別講演として防衛医科大学病理学第一講座の広井禎之氏に日常のルーチンに直接役立つ話題の講演をお願いしております。参加に向けて予定を空けておいていただけますよう、よろしくお願いいたします。

なお一般演題を募集しておりますのでお気軽にふってご応募ください。

日 時：平成19年1月27日(土) 午後より

※ニュース9月号にてお知らせした日とは変更になっております

場 所：(財)日本生命済生会附属日生病院 別館1階 講堂
※なお詳細については次号以降に順次お知らせいたします。

連絡先：大阪厚生年金病院 高田 直樹

E-mail: ct-naoki@sc4.so-net.ne.jp

学術部 チーム医療部門 糖尿病療養指導部会からのお知らせ

糖尿病療養指導部会 定例勉強会 「慢性合併症」

糖尿病治療の最終目的は“合併症の発症と進展を阻止すること”であり、健康で安定した糖尿病ライフの獲得には合併症の阻止が不可欠です。

今回の勉強会では前半は、慢性合併症のことを中心に勉強しその実体に迫ります。後半は、糖尿病の合併症のひとつである大血管障害の脳梗塞を取り上げたいと思います。皆さんも脳梗塞の患者さんにSMBGの指導をすることも珍しくないのではないのでしょうか。例えば手に力が入らない・動かせない、舌がもつれる、せっかく指導したのに記憶がとぎれているなど、症状は様々かと思えます。そのようなハンディをもっておられる患者さんへの指導方法について話題を提供したいと思います。

皆さんの経験や工夫を話し合いませんか？

日 時：平成18年11月8日(水) 18:30~20:00

場 所：大阪鉄道病院 3階講堂

内 容：1.『糖尿病の合併症について』

講師：住友病院 田上 展子

2.『障害のある患者様へのSMBG指導法について』

講師：松下記念病院 中島 康仁

評価点：B-10点（会員証をお持ちください）

参加費：会員500円、非会員3,000円

連絡先：大阪赤十字病院検査部 山下 己紀子

E-mail: yamashita.osaka.red@apost.plala.or.jp

評価点＝日臨技生涯教育点数

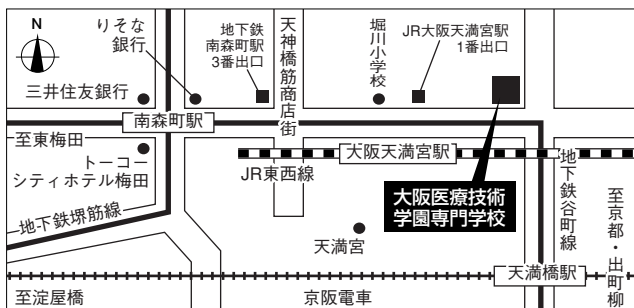
学術部 検体管理システム部門からのお知らせ

平成18年度 第2回 精度管理講演会

「免疫学的測定法の現状と問題点」

共催：免疫血清検査部門

今回の精度・機器管理分野講演会は、「免疫学的測定法の現状と問題点」をテーマとして免疫学的測定法の精度管理調査の現状と測定法における問題点等について説明していきたいと思えます。活発な討論会にしたいと考えておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。



日 時：平成18年11月25日(土) 14:30~17:00

場 所：大阪医療技術学園 2階大講義室

内 容：「免疫学的測定法の現状と問題点」

1.「抗体検査の精度管理—特に定量成績について」

講師：天理よろづ相談所病院 臨床病理部 河野 久

2.「免疫学的測定における問題点」

講師：慶応義塾大学病院 中央臨床検査部 石橋 みどり

評価点：B-10点（会員証をお持ちください）

参加費：会員1,000円、非会員3,000円

連絡先：松下記念病院 中央臨床検査部 中島 康仁

T E L : 06-6992-1231 (内線 3224)

F A X : 06-6992-6854

E-mail: fwhz2544@mb.infoweb.ne.jp

学術部 臨床化学検査部門からのお知らせ

◆◆◆臨床化学部門 定期講演会「心疾患とBNP」◆◆◆

日 時：平成18年11月9日(木) 18:30~20:00
 場 所：あべのメディックス 7階研修室
 評価点：C-10点（会員証をお持ちください）
 参加費：会員700円、非会員3,000円
 連絡先：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 増田 詩織
 TEL&FAX：072-360-2344
 E-mail：shiori-m@kensa.med.kindai.ac.jp

内 容

1. 心疾患とBNP

講師：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部
 前田 岳宏

2. BNPの歴史と臨床的意義

講師：株式会社三菱化学ヤトロン POCT事業部
 江村 政彦

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

微生物検査部門 定期講習会

『ウイルス性腸炎のすべてーノロウイルスを中心に』

冬季に発生する感染性胃腸炎のほとんどがウイルスによる胃腸炎で、原因ウイルスは、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、アストロウイルスなどが知られています。例年初冬から増加し始め12月頃にピークとなります。学校、保育園、社会福祉施設など集団生活をする施設で発生した場合は、集団感染になることがあります。主な症状は嘔吐と下痢ですが、嘔吐または下痢のみの場合、嘔吐の後下痢がみられる場合とさまざまですが、嘔吐や下痢、発熱で脱水症状を示すこともあるので注意が必要です。食品を介した感染で最も多いのは貝類による感染で、ウイルスに汚染された二枚貝を生、あるいは加熱が不完全なままで食べることにより感染します。

今回はノロウイルスを中心にウイルス性腸炎について基礎的なことから検査法、疫学、新知見などについてご講演いただきます。決して生牡蠣だけが原因食品ではありませんが、レモン汁をおとした生牡蠣のおいしい時期がもうすぐやってきます。皆様奮ってぜひご参加ください。

日 時：平成18年11月28日(火) 18:30~20:00
 会 場：あべのメディックス 7階研修室
 テーマ：『ウイルス性腸炎のすべてーノロウイルスを中心に』
 講 師：大阪府立公衆衛生研究所 山崎 謙治
 評価点：C-10点（会員証をお持ちください）
 参加費：会員500円、非会員3,000円
 連絡先：財団法人阪大微生物病研究会 坂本 雅子 E-mail：msakamoto@mail.biken.or.jp



学術部 免疫血清検査部門からのお知らせ

■■■■ 免疫血清検査部門 定期講習会 データ保証の基礎 ■■■■
「検体採取条件によるデータ変動についてー採血から測定までの問題点ー」

緊急検査・至急検査・迅速検査は各々施設で実施されています。そのため、高速凝固促進剤・分離剤入り採血管が普及し、採血後血清分離の作業工程は迅速化、省力化しています。しかし、その採血管の原理、使用方法、問題点については知られていない現状です。今回は、免疫血清検査を主に他検査を含め、採取条件によるデータ変動についてご講演いただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時：平成18年11月17日(金) 18:30~20:00
 場 所：あべのメディックス 7階研修室C
 内 容：データ保証の基礎
 「検体採取条件によるデータ変動について
 ー採血から測定までの問題点ー」
 講 師：昭和大学藤が丘病院 中央臨床検査部 石沢 修二

評価点：C-10点（会員証をお持ちください）
 参加費：会員500円、非会員3,000円
 連絡先：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 岡田 和敏
 TEL：072-366-0221（内線 2187）
 E-mail：kz-okada@kensa.med.kindai.ac.jp

2006 11月大臨技行事予定表

研修A＝日臨技生涯教育点数A
研修B＝日臨技生涯教育点数B
研修C＝日臨技生涯教育点数C

1 水	第47回近畿医学検査学会実行委員会 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30	18 土	研修B-10 第23回 技師長会 「これからのLaboratory managementのありかた」 【第1部 情報提供】 1. 「病院経営環境の変化と対応」 講師：アルフレッサ(株)コンサルティング部機能評価支援グループ 四野宮 敬彦 2. 「SWOT分析による検査室への活用について」 講師：ロシュ・ダイアグノスティックス(株)CD事業部 高田 藤代 【第2部 総合討論会】 「検査室の向上を目指した取り組みー我々は今何をすべきかー」 1. 講師：大阪医科大学附属病院中央検査部 村上 澄子 2. 講師：大阪府立成人病センター臨床検査科 永井 博 場所：あべのメディックス 6階ホール 時間：14：30～16：50 連絡先(E-mail)：大阪府立成人病センター 井戸田 篤 (idotaa@opho.jp)
2 木	研修C-10 血液検査部門「形態セミナー シニア」(正会員+オブザーバー) 場所：あべのメディックス 7階研修室B 時間：18：30～20：00 会員(オブザーバー)参加費：500円 連絡先(E-mail)：松下記念病院 村瀬 幸生(murase.yukio@jp.panasonic.com)	19 日	
3 金	★講演会・講習会参加時は必ず会員証をご持参ください★	20 月	
4 土		21 火	渉外部会 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30
5 日		22 水	常務理事会 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30
6 月	2006年12月行事予定・大臨技ニュース締め切り	23 木	
7 火		24 金	
8 水	研修B-10 チーム医療部門 糖尿病療養指導部会 定例勉強会 「慢性合併症」 1. 「糖尿病の合併症について」 講師：住友病院 田上 展子 2. 「障害のある患者様へのSMBG指導法について」 講師：松下記念病院 中島 康仁 場所：大阪鉄道病院 3階講堂 時間：18：30～20：00 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：大阪赤十字病院 山下 己紀子 (yamashita.osaka.red@apost.plala.or.jp)	25 土	研修C-10 一般検査部門 定期講習会 1. 新しい全自動尿中有形成分分析装置「UF-1000i」の紹介 講師：シスメックス(株)大阪支店 学術情報課 宮尾 雅美 2. 幅広く学ぶ講座「とてもよくわかる尿化学検査」 講師：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 増田 詩織 3. さらに理解を深める講座「尿沈渣検査の再検ロジックを考える」 講師：杏林大学医学部付属病院 中央検査部 米山 正芳 場所：あべのメディックス 7階研修室 時間：14：00～17：00 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：市立吹田市民病院 佐々木 正義 (makko@abox4.so-net.ne.jp) 研修B-10 検体管理システム部門 精度管理講演会 「免疫学的測定法の現状と問題点」 共催：免疫血清検査部門 1. 「抗体検査の精度管理ー特に定量成績について」 講師：天理よろづ相談所病院 臨床病理部 河野 久 2. 「免疫学的測定における問題点」 講師：慶応義塾大学病院 中央臨床検査部 石橋 みどり 場所：大阪医療技術学園 2階大講義室 時間：14：30～17：00 会員参加費：1,000円 連絡先(E-mail)：松下記念病院 中島 康仁 (fwhz2544@mb.infoweb.ne.jp) 研修C-10 生理機能検査部門「第3回 心エコー研修会」(事前申込み制) 場所：関西大学医学部附属枚方病院 時間：10：00～19：00 連絡先(E-mail)：大阪労災病院 藤田 晋一 (echolabo@orh.go.jp)
9 木	研修C-10 臨床化学検査部門 定期講演会「心疾患とBNP」 1. 心疾患とBNP 講師：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 前田 岳宏 2. BNPの歴史と臨床的意義 講師：株式会社三菱化学ヤトロン POCT事業部 江村 政彦 場所：あべのメディックス 7階研修室 時間：18：30～20：00 会員参加費：700円 連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院 増田 詩織 (shiori-m@kensa.med.kindai.ac.jp) 大臨技理事会 場所：大臨技事務所 時間：18：30～20：30	26 日	研修C-10 生理機能検査部門「第3回 心エコー研修会」(事前申込み制) 場所：関西大学医学部附属枚方病院 時間：9：00～15：00 連絡先(E-mail)：大阪労災病院 藤田 晋一 (echolabo@orh.go.jp)
10 金		27 月	
11 土	研修A-10「手話講演会」 場所：港区民センター 時間：14：00～16：00 (13：30より受付) 参加費：無料 対象：どなたでもご参加いただけます 連絡先(E-mail)：大阪警察病院 赤木 征宏(akg@oph.gr.jp) 研修C-10 輸血検査部門 学術講演会「再生医療について」 講師：産業技術総合研究所 セルエンジニアリング研究部門 組織・再生工学研究グループ 大串 始 場所：大阪府赤十字血液センター 7階会議室 時間：14：00～15：30 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院 輸血部 金光 靖 (yuketsu@med.kindai.ac.jp)	28 火	研修C-10 微生物検査部門 定期講演会 「ウイルス性腸炎のすべてーノロウイルスを中心に」 講師：大阪府立公衆衛生研究所 山崎 謙治 場所：あべのメディックス 7階研修室 時間：18：30～20：00 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：(財)阪大微生物研究会 坂本 雅子 (msakamoto@mail.biken.or.jp) 「第1回認定一般検査技師試験 説明会」 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30 参加費：無料 連絡先(E-mail)：大阪大学医学部附属病院 今井 宣子 (imai@osaka-amt.or.jp)
12 日		29 水	2007年1月行事予定・大臨技ニュース締め切り
13 月		30 木	
14 火			
15 水	総務部会 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30		
16 木	情報組織部会 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30 地区事業部会 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30		
17 金	研修C-10 免疫血清検査部門 定期講習会 「データ保証の基礎 検体採取条件によるデータ変動についてー採血から測定までの問題点ー」 講師：昭和大学藤が丘病院 中央臨床検査部 石沢 修二 場所：あべのメディックス 7階研修室C 時間：18：30～20：00 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院 岡田 和敏 (kz-okada@kensa.med.kindai.ac.jp)		

★3年間で A教科(15点以上)+B教科(25点以上)+C教科(60点以上)=合計100点以上 取得を目指しましょう！ 取得者には日臨技より「修了証書」が送付されます。

携帯からでも行事予定表を見ることができます！ アドレスはこちら。http://www.osaka-amt.or.jp/



アルフレッサ株式会社

代表取締役社長 福 神 邦 雄

大阪オフィス ☎540-8575 大阪市中央区石町二丁目2番9号 ☎06-6942-6300 <ダイヤルイン>

検 査 試 薬 ☎06-6942-6319 Fax.06-6942-6384

中央支店 阪南支店 門真支店 奈良支店 奈良南支店 和歌山支店 田辺支店 神戸支店 阪神支店 北神支店

加古川支店 姫路支店 但馬支店 京都南支店 舞鶴支店 滋賀支店 北陸支店

学術部 輸血検査部門からのお知らせ

★★★ 輸血検査部門 学術講演会 「再生医療について」 ★★★

今回の学術講演会では「再生医療」をとりあげました。臓器移植に代わる新たな治療法として大きな期待が寄せられているこの分野は、現在の輸血部門が将来的に大きく関わっていくことになると思われます。最先端のお話を聞けるめったにない機会ですので、多くの会員の参加をお待ちしています。

日 時：平成18年11月11日(土) 14:00~15:30

場 所：大阪府赤十字血液センター 7階会議室

テーマ：「再生医療について」

講 師：産業技術総合研究所 セルエンジニアリング研究部門

組織・再生工学研究グループ 大串 始

評価点：C-10点（会員証をお持ちください）

参加費：会員500円、非会員3,000円

連絡先：近畿大学医学部附属病院 輸血部 金光 靖

E-mail: yuketsu@med.kindai.ac.jp

第17回 日本臨床化学会近畿支部総会のお知らせ

日 時：平成18年12月9日(土) 10:00~17:00

会 場：大阪大学医学部銀杏会館3階 阪急・三和ホール

懇親会会場：銀杏会館2階 銀杏クラブ

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

参 加 費：500円（学生無料）

懇親会費：3,000円

※懇親会へ参加される方は、事前に学会事務局

(jscc@sahs.med.osaka-u.ac.jp) までEmailでご登録ください。

会費は当日徴収させていただきます。

※詳細は下記を参照ください。

<http://sahsweb.med.osaka-u.ac.jp/~prevdiag/JCCkinki/>



プログラム		
9:30	受付	3階 ホワイエ
10:00	開会の辞 総会長・大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 岩谷 良則	3階 阪急・三和ホール
10:05	一般演題1 座長(未定) 一般演題2 座長(未定) 一般演題3 座長(未定)	
12:00	支部役員会・昼食	3階 会議室C
13:00	支部総会	3階 阪急・三和ホール
13:30	シンポジウム「健康食品を科学する」 司会：千葉科学大学教授 長村 洋一 近畿大学薬学部教授 池川 繁男 健康食品の現状と研究開発 サントリー健康科学研究所 所長 木曾 良信 健康食品の臨床評価 総合医科学研究所 代表取締役 梶本 佳孝 健康食品の品質保証—欧米との比較— 日本健康食品規格協会 理事長 大濱 宏文 健康食品の有効かつ安全な利用に向けて 健康食品管理士協会 理事長 長村 洋一	
16:00	特別講演「ゲノム創薬と臨床化学」 京都大学大学院薬学研究科創薬科学専攻 教授 辻本 豪三 司会：神戸常盤短期大学学長 上田 國寛	
17:00	閉会の辞 総会長 岩谷 良則	
17:30	懇親会	2階 銀杏クラブ

学術部 一般検査部門からのお知らせ



一 般 検 査 部 門 定 期 講 習 会



11月の一般検査部門講習会のテーマは、一般検査担当者が知っているようで知らない「尿化学検査」について、杏林大学医学部附属病院の米山正芳技師をお招きして、皆さんが強く関心を持たれており、一般検査室の最重要課題でもある「尿沈渣の再検基準」についてを学びたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時：平成18年11月25日(土) 14:00～17:00

会 場：あべのメディックス 7階研修室

共 催：シスメックス株式会社

評価点：C-10点(会員証をご持参下さい)

参加費：会員500円、非会員3,000円、学生 無料

連絡先：市立吹田市民病院 臨床病理部 佐々木 正義

E-mail: makko@abox4.so-net.ne.jp

内 容

1. 新しい全自動尿中有形成分分析装置

「UF-1000i」の紹介

講師：シスメックス(株)大阪支店 学術情報課

宮尾 雅美

2. 幅広く学ぶ講座

「とてもよくわかる尿化学検査」

講師：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部

増田 詩織

3. さらに理解を深める講座

「尿沈渣検査の再検ロジックを考える」

講師：杏林大学医学部附属病院 中央検査部 米山 正芳

第23回

【吹田市みんなの健康展】開催される

第2地区 区長 本岡 敬一郎

今年も9月9日・10日の両日に《吹田市みんなの健康展》がメイシアターで開催されました。この健康展も今年で23回目を迎え、府内随一の規模を持つイベントになりました。毎年市民の方が新しい気持ちで【健康】を見直せるような内容にするため色々と工夫をしていますが、医療施設でない場所で検査技師の持つ能力を発揮するには限界があり近年は企画内容に苦労しています。

結局今年は医師会の意向もあって昨年と同様に身長・体組成の身体測定と体力測定における肺活量の計測を担当しました。体力測定と身体測定が一連の流れでできるように場所の見直しをしたこともあってか例年以上に参加者が多く、9日には肺活量254名・体組成計測262名、翌10日には肺活量362名・体組成計測388名を計測、計600名を超える市民の方が参加されました。全員ではありませんが希望者は結果に関して医師会やスポーツトレーナーから説明があり好評な結果が得られました。更に今年初めて吹田ケーブルテレビで健康展を15分程の番組として放送していただき、我々技師会の活動も短時間ではありましたが映像として放送されました。

各自治体の健康診断も年々充実してきたこと、テレビでも健康や疾患を取り上げる番組が増加しメタボリックシンドロームなど医療に関わる言葉が日常化してきたこと、さらに医療業界も罹患した患者様を治療するという形態から予防医学的な分野で病気を防ぐ形態に一部変わりつつあることなどが影響してか、一般市民が持つ健康への関心度は増してきています。我々検査技師は検査技師として何ができるか、何に貢献できるか等、従来の検査室という壁をぶち破って新しい世界へ進むのも1つの道ではないでしょうか。





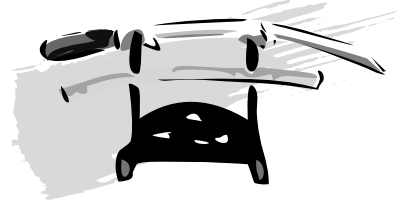
国際貢献専門委員会だより

～仏語圏アフリカ臨床検査技術コース関連報告～

10月7日(土) JICA大阪にて会員交流会が開催された。第1部では「仏語圏アフリカ臨床検査技術コース」を担当している大阪国際センター(JICA大阪)業務第3チームの日原一智氏よりイスラム諸国文化についてのオリエンテーションとJICA大阪の施設内の見学会が行なわれ、大臨技国際貢献専門委員会からは、大阪府立成人病センターの永井句子氏によるアフリカのセネガル、ニジェールへ現地調査団として派遣された時の報告がなされた。当日は、京都保健衛生検査技師専門学校の学生さんに多く参加してもらい、普段目にする事のないJICA大阪の施設や設備と臨場感たっぷりの現地調査報告を堪能してもらうことができた。第2部ではいよいよ仏語圏アフリカから来日している研修員との交流会が始まり、京都保健衛生専門学校の教諭小澤優氏と国際貢献専門委員会渉外部メンバーでセネガルでの青年海外協力隊としての活動経験のある山本綾氏の進行によりアフリカに関するクイズ大会が実施され、参加者は難問に頭をひねりながらも、景品が配布される時には盛り上がりを見せていた。研修員の方々には大臨技よりUSBフラッシュメモリーのプレゼントが進呈された。

日没後(9/24～10/23イスラム教では断食月であり、日の出から日没までの飲食はできない。)の懇親会では、日本側からは学生さんがクラリネット演奏を技師会会員から剣術の「居合い」が披露され、研修員の方々は日本の伝統文化芸を真近で見れたことに感動を隠せない様子で、大いに満足されていたようだった。はじめは緊張した面持ちだった学生さんも、陽気なアフリカの研修員たちに次第に打ち解けていく姿が見られ、初々しい国際交流の一面も垣間見れた。

コース研修自体は9月に基礎微生物講義と基礎実習および感染症の講義を終えて、折り返し地点を過ぎ、10月は福井の近畿医学検査学会等に参加する研修旅行が実施された。10月31日からはいよいよ、滋賀医科大学医学部附属病院と近畿大学医学部附属病院をメインに近畿県内の受け入れ先施設での病院実習が始まる。



日没後の懇親会にて ラマダン中も研修員の皆さん元気です!

交流会の企画担当は地区事業部

お疲れさまでした

～大臨技事務所事務員交代のお知らせ～

大臨技事務員として勤務しておられた原川秀子氏が10月末日をもって定年退官されました。原川氏には法人化以前より約20年の長きにわたりお世話になってきました。ここに感謝の意と今後のご健勝をお祈りする次第です。

後任として岩崎和子氏、仲野けい子氏の2名が事務員として6月より勤務されています。



左から仲野氏、原川氏、岩崎氏
原川さん、長い間お疲れさまでした。
岩崎さん、仲野さん、これからよろしくお願いします。



● ● 臨床検査教育の変遷に思う ● ●

□ 本で初めて検査の教育機関として、昭和26年に兵庫公共職業補導所が開校した。当時は、半年間の学内講義、半年間の病院実習と1年間の教育であった。昭和33年「衛生検査技師法」の成立以降、2年制の技師教育制度がスタートし、さらに、昭和45年「臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律」が成立、教育年限は3年以上となり、本格的な技師教育が開始された。

第1回臨床検査技師国家試験は、特別の講習会参加者も含め2万5千余名

受験し、合格率は97.4%であった。この頃は、春と秋の年2回国家試験が実施され、検査技師の輝ける時代の幕開けである。その後、昭和61年に指定規則・指導要領の改正があり、昼・夜間部にかかわらず、330時間以上の臨床実習が義務づけられ、(それまで夜間部の臨床実習は免除であった。)また、国家試験においても薬学部卒等の科目免除がなくなり全科目全員受験となった。さらに、平成12年に行われた改正で、カリキュラムが時間制から単位制となり、今までの画一的教育から、保健・医療・福祉を見据えた各学校自由に創意工夫できる自由度の高いカリキュラムの構築が可能となり現在に至っている。

このようないくつかの変遷の中で、全国臨床検査技師教育施設協議会は、長年の構想であった“法人化”を押しすすめ、本年1月に設立する運びとなり、この8月に法人として記念すべき“第1回日本臨床検査学教育学会学術大会”が東京医科歯科大学に於て開催された。

今後も、教育事業における会員のさらなる資質向上を図り、国民の保健福祉に寄与するものである。この様に、

2年制から始まった教育制度は、現在、4年制大学約45%、短期大学約10%、専門学校約45%の割合となり、国・公・私立の設置形態や学部も多様化し、同じ国家試験を受けても方向性は多岐に渡っている。本校においても、病院が主流ではあるが、進学も含め個人の目標が多様化し、将来目的に添う所を模索し希望する。

以前、検査技師は“縁の下の力持ち”と比喻されたが、今まさに技師の底力をさらに多方面に発揮するところであり、第二幕はもう上がっている。今後、変遷していくであろう未来にむけて、責任の持てる教育を実施していきたい。

（近畿医療技術専門学校
臨床検査科教務主任
小市 加陽子）



第1回日本臨床検査学教育学会学術大会の様子

臨床検査技師賠償責任保険 任意加入部分ご加入のおすすめ

臨床検査技師賠償責任保険とは

臨床検査技師が業務の遂行により、他人の生命・身体を害したり、財物を損壊したり、プライバシーの漏洩等による人格権侵害について、法律上負担しなければならない損害賠償責任を補償する保険です。

補償内容と年間保険料

1. 全員加入部分 (保険期間: 1年間)

被保険者: (社) 日本臨床衛生検査技師会所属の全会員

てん補限度額 (対人賠償責任のみ)		自己負担額 (全会員)
1事故	保険期間中 (1年間)	
100万円	100万円	0円

■ 年間保険料 (社) 日本臨床衛生検査技師会負担 (団体割引25%適用)

2. 任意加入部分 (保険期間: 1年間)

被保険者: (社) 日本臨床衛生検査技師会所属の会員 (希望者)

対人事故	1事故につき 期間中	1億円 3億円	※ 免責100万円。 ただし、100万円までのご請求は 全員加入部分で補償します。
対物事故	1事故・期間中	20万円	(免責金額なし)
人格権侵害	1名・1事故・期間中	100万円	(免責金額なし)
初期対応費用		500万円	(免責金額なし)

■ 年間保険料 2,780円 (団体割引25%適用)

お問い合わせ先

「臨床検査技師賠償責任保険」事務代行会社
東京海上日動火災保険(株)代理店
(株)メディックプランニングオフィス
〒343-8790
埼玉県越谷市千間台西2-3-6
E-mail: medic.p.o@nifty.com

引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社
医療・福祉法人部 法人第一課
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア WEST 11F

お問合せ先

☎ 0120-610020

Cool Down

～綺麗でいたい～

いつも水泳の話ばかりで申し訳ないのだが刺激が多いのでまた一つ紹介。

スポーツクラブには当たり前だがいろんな職業の人が来ている。OLを始め主婦、警察官、高校生、サラリーマンなどなど。私がよく泳ぐ時間帯にも常連の主婦の方がいるがその中にとよた真帆に似ているすらった女性がいる。泳ぐ姿もパワフルでフォームも綺麗。立ち止まって話をしても生き生きとしていて、笑って口元を覆う指先には完璧なネイルケア。40歳代なのは何となくわかるのだがそれにしてもそうは見えない。一緒に練習をしてもスピードよりも綺麗なフォームを重点的にアドバイスしてくれるのである日つい「泳ぐ姿も綺麗ですいいつも綺麗にしていますよね」と言うと「だって、綺麗でいたいじゃない」と逆にびっくりしたように言われた。

歩く時は姿勢を意識する。ネイルケアは自分で自分を磨いている作業によって綺麗になっていく実感がわくからやるように。たぶん普段から綺麗を意識してる人にとっては当たり前のことなんだろう。「あなた若いんだからもっとちゃんとしなさい」と冗談交じりに顔をつねられながら少し爪の垢でも煎じて飲んでみようと思った。

泳ぎ終わってロビーへ出ると、一緒にご飯を食べに行くため待ち合わせをしている男性会員がすでにいて私達を見つけると「もう化粧いいのか～？俺はもう化粧できてるぞ～」と皮肉っぽく笑った。プールでのすっぴんを知ってる彼にとっては美しさよりスピードのようだ。

[今田晶子]

大臨技事務局より

平成18年度会費

- ①日本臨床衛生検査技師会
②大阪府臨床検査技師会
③近畿臨床検査技師会

納入金額
10,000円
4,700円
300円

合 計

15,000円

会費領収書について

原則として領収書の発行は行いません。郵便振込みの際に渡される半券の領収書をもって大臨技会費領収書とさせていただきます。従前のような手書きの領収書を特に必要とされる方は別途大臨技事務所へご依頼ください。

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

○新入会員の方は、入会金6,500円(日臨技2,000円、大臨技4,500円)が加算されますので、合計21,500円となります。

○なるべく施設毎にまとめてお振込みください。

○納入の際は必ず施設名と会員番号をご記入ください。

○会員の「継続」「入会」「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送をお願いします。TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴じ込みは、会誌「医学検査2006年1月号Vol.55、No.1」に掲載されています。届出用紙については、下記URLをご参照ください。
<http://www.jamt.or.jp/information/official/shinsei.html>

★特に住所変更については、必ず届出をしてください。
届出をされませんと、宅急便のメールサービスを利用した大臨技からの郵送物は、あて先不明で配達されなくなります。

* 入会手続きに関してのお願い *

入会の手続きは、原則として入会申込書と入会費の振込みが確認されたから、はじめて完了となります。それ以前の段階での会員番号の発行はできませんので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

なお、免許申請中で入会された方は、入会時に送付した記入用紙に必要事項(会員番号・氏名・免許番号・取得年月日)を記入のうえ、速やかに大臨技事務所へFAX・郵送等でご連絡ください。

小型便潜血分析装置
QUICK RUN

この1台で
2つの項目が測定できます!

尿中
便潜血 蛋白質



便潜血

- 小型で操作は簡単
- 分析結果を数値で出力
- 分析は金コロイド比色法
- 試薬はシングルテストタイプ
- カード方式によるキャリブレーション

尿中蛋白質

- 分析はビロガロールレッド法

採便容器

- 検体通過に対応したブラシ型容器です。
- 便の性状を問わず採便しやすいのが特徴です。

アラシ製

販売代理店 14820090

[販売店名]

和光純工業株式会社

臨床検査部 カスタマーサポートセンター

〒103-0062 東京都中央区日本橋本町4-5-12 電話:03-3270-0134(ダイヤルイン)

Fujifilm

和光純工業株式会社

和光純工業株式会社

Wako

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX: 06-6644-1128 E-mail: imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。

12月号の原稿〆切は 11月6日(月)、1月号は 11月29日(水) です。